



すみえ  
純惠的

# 子育て親育て!“もっと”話

motto[mò-tou]



石山純恵さん。福島市在住、2児の母。起業、国際結婚、離婚を経て平成20年に再起業。多言語翻訳と研修立案等の会社「クリフ」を設立。NPO法人Tomorrowに参画し、市内2カ所の学童保育所を運営。福島の女性起業家として講演や研修セミナーを行うほか、子どもから企業管理職までの幅広い人材教育事業に関わる。豊富な経験を生かし多方面で活躍中。昨年8月、全国商工会議所女性会連合会・第12回女性起業家大賞「最優秀賞」受賞。【☎024(531)8120】

## 年齢は「首」や「手」に表れる!? 子どもは母親に若々しく キレイでいて欲しいと思うもの

いつも「純惠的 子育て親育て!“もっと”話」を愛読ありがとうございます。

起業や仕事への思い、時間の使い方や行動する優先順位をどう決めるかなどの自己マネジメント話、食事や健康、子育て話などを綴ったこのコラムを、平成20年の初回から読み返してみました。実体験に基づいたわが家のドタバタ話は、「こんなこともあったなあ」と懐かしく息子たちの成長に目を細めたのでした。

「おばあさんみたい」  
息子からの鋭い  
指摘にガーン!

先日、「年とったなあ、おばあさんみたい」と、次男が私の荒れた手を取ってボソッと言いました。それから彼は率先して洗い物をしてくれるし、クリームをくれるし、ホクホク喜んでくれた私ですが…

数日後、私の荒れた手が良くなったのを確認した彼は、「最近ババアくさいから気を付けて」と一言。ガーン！ 実年齢より若いと思っていたのは私だけ？ と話をしてみると、「顔はある程度化粧で隠せるけれど、首や手は隠せないんだよ」と鋭い指摘を受けたのでした。

「台所仕事もするし、乾燥する季節だし…」と心の中で言い訳をしたものの…。

そういえば、私がちょっとコンビニに行く時や長男を迎え時も「その格好で行くの？」と言われていたのを思い出しました。車から出ないはずのお迎えも予想外の事故に遭遇するかもしれないし、コンビニだって誰が見ているか分からない。母親に若々しくキレイでいて欲しいと思つのは、当然だし、どうでもいと思われるよりうれしいこと、そして息子がそれを口に出してくれるのは良いことです。私にはもともと気にしなくちゃいけないと思つたのでした。

皆さんはいかがですか？ さあ、首と手や足の裏をチェックしてみよう！